

『熊野川 カヌー小旅行』

実施日：平成20年5月18日（土）

場所：熊野川

参加者：男性7名、女性3名

（大阪府箕面市、愛知県名古屋市、三重県紀宝町、熊野市）



川の古道として世界遺産に登録されている熊野川。比較的水質が良好なことや自然状態の河岸が保たれており、中下流部にダムや堰堤が無いので、カヌーに乗ったまま長い距離を下ることができます。初級者から上級者までカヌーが楽しめるバラエティに富んだ流れを持つ川です。

今回の「熊野を楽しむ達人の会」第32回例会は存分に熊野川の自然を感じてもらおうと『熊野川 カヌー小旅行』と称して実施しました。この季節は山々の新緑が河岸まで迫り、鳥の鳴き声もよく聞こえます。また、奇岩の下までカヌーで近づいたりすることもできます。



午前中、初心者の方は紀宝町浅里周辺でパドルの握り方、漕ぎ方など基本練習をしました。経験者の方は新宮市熊野川町日足に移動をして、ガイドの説明を受けた後、30分ほど基本練習をして約3時間かけて紀宝町浅里を目指して下りました。

午後は初心者グループが先に出発し、後から経験者グループが出発と時間をずらして川を下ります。途中向かい風となり、下るのがかなり大変だったようですが、皆さん熊野川の自然を満喫しながら河口付近まで川を下って行きました。



参加者のみなさんから、「熊野川を堪能できました。」、「向かい風になってから進まなくて大変でした。」、「また、ぜひ乗りたい」などの感想をいただきました。

（宮本）